※令和３年度以前入学生用

学校番号	2001

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	２年次または３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）　標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	初訂版最新地理図表ＧＥＯ（第一学習社）　地理統計要覧（二宮書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校における社会科の学習をもとに、教科書・資料集・統計も活用しながら学習をすすめます。特に地理の学習においては「どこに、なにが、なぜ分布しているのか」を踏まえて考察を深めることが求められます。したがって特に地図帳は重要なツールとなります。常に地図帳を横に置き学習をすすめていきましょう。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象について系統地理的に、現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
・地理的な技能を身につけ、自分の生活する地域や社会への理解を深める。
・現代世界の諸課題を認識するとともに、主体的に社会に関わろうとする意欲をもつ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象について系統地理的に、また現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地理的に考察し。現代世界への地理的認識や地理的見方･考え方に関する関心と課題意識を高める。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に、また歴史的背景を踏まえて地誌的に考察するとともに、社会の変化を踏まえて公正に判断しようとする。	地図や統計、画像等の諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して、地理情報を地図の活用に関する技能を身につける。	・現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解する。 ・現代世界に関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解する。
評価方法	提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年1学期	地図と地理的技能	・地図の発達 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化 ・地図の活用と地域調査	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	a:地図の有用性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地理情報を地図化するにあたり、どのような表現方法を用いれば適切な地図をつくることができるかを考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:地理情報を地図化する際、情報の特性に応じて地図の形態を使い分け、適切な統計地図を用いることができる。 d:球体としての地球の特徴と位置を地球儀に表示する方法、これを地図に表現した場合の各図法の長所短所を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等
	自然環境	・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題	 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ 	a:世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:世界と日本の環境問題の原因、影響、対策について、自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し、特徴や地域的な分布、今後の課題などについて適切にまとめ、表現できる。 c:写真、地形図、雨温図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d:世界の地形や気候について、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等

※令和３年度以前入学生用

2年2学期	資源と産業	・世界の農林水産業 ・食料問題	○	○	○ ○	○	a:発展途上国や先進国及び日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 b:発展途上国や先進国及び日本の食料問題の状況とその成因を系統地理的にとらえる視点や考察方法を身につけ、その過程や結果を適切に表現できる。 c:農林水産業の生産や分布の特徴に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について適切に読み取ることができる。 d:世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につける。	定期考査 提出物等
		・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題	○	○	○ ○	○	a:資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡をはじめとする問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 b:資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の課題、石油をめぐる国際情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。 d:世界のエネルギー・鉱産資源について、その種類や分布、主な利用法などを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等

※令和３年度以前入学生用

2年3学期	資源と産業	・世界の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏	 ○ 	○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:第３次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 b:工業の立地や発達に影響を及ぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:工業生産や商業、サービス業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。 d:工業、商業、サービス業の発展過程や種類、立地とその変化、現状と課題を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等
3年1学期		・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	a:発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題・都市問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 b:世界の人口問題・都市問題について、それぞれの課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:人口ピラミッド、都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。 d:世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみ、村落と都市の立地条件や、発達の背景・機能などを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等

※令和３年度以前入学生用

3年1学期	生活文化、民族・宗教	・世界の衣食住 ・民族と宗教 ・現代世界の国家 ・民族・領土問題	○ ○	○	 ○	 ○ 	a:世界の衣食住の地域的差異、民族と宗教の分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 b:世界の衣食住について、地域的差異の背景、その変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。 d:国境と領域のきまり、さまざまな国家の分類などを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等
3年2学期	現代世界の地誌的考察	・東アジア、東南アジア、南アジア、ヨーロッパ （形式的区分） ・ロシア（自然環境による区分） ・アングロアメリカ （文化による区分）	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:各地域の地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これらをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:各地域を構成する様々な事象を産業・文化・民族・歴史などの項目ごとに整理して、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等

※令和３年度以前入学生用

３年２学期	現代世界の地誌的考察	・ラテンアメリカ （文化による区分） ・オセアニア（形式的な区分）	○	○	○	○	a：各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b：各地域の地域的特色や地球的課題を、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c：各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d：各地域を構成する様々な事象を特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等
３年３学期		・西アジアと中央アジア（自然環境による地域区分） ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ（文化による地域区分）	○	○	○	○	a：各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b：各地域の地域的特色や地球的課題を、類似的または対照的な性格の２つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c：各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に収集して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d：各地域の対照的または類似的な性格の２つの地域を比較して、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出物等

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。